

# 誰でも開ける, 読める, 見られる

— メールにワード, エクセル, 一太郎の文書をそのまま添付するのはやめてください —

理学部 助教授 栗本 猛

krmt@sci.toyama-u.ac.jp

## 1 当世電腦網氣質

「メール, ウェブが嫌いな人にも, モバイルパソコン持たせたい. オッペケペ, オッペケペッポーベッポーポー。」いや, 私がこう思っているわけではありません. 昨今の風潮の話です. 一部の大学では新入学生にノートパソコンの購入を義務付けて, 授業はもとより事務連絡もそのパソコンを使ってメールやウェブで行なうようにしているところがあります. 会社に入ればパソコンを使うのは当たり前で, 仕事先での連絡, 商談にもインターネットを利用するのが普通の時代です. 連絡手段が飛脚から通常郵便へ, さらに電話とFAXへと移行したのが遠い昔の話となり, 今やメール, ウェブのできる携帯電話を持っていないと時代遅れにされかねないようになりました<sup>1</sup>. 仕事や勉強, 暮らしのあちこちにコンピュータネットワークが不可欠の時代です. 好きな人はよりいっそう, そうでない人もそれなりにパソコンと付き合わざるをえません. 表計算ソフトで計算をしたり, ワードプロソフトで文章を書いて, できたファイルをメールやウェブでやりとりするというのが多くの人の日常の業務の一部になっています.

## 2 みだれ文

さて, そういう日常の業務をこなす上で問題がでてきました. メールやウェブで文書をもらっても, そのファイルが開けない, 読めない, 見ることができないというケースがしばしばおこります. 読めない外国語で書かれてあるとか, 日本語として文章になっていないというレベルの話ではありません. もらったメールに添付されてあるファイルを開こうとしても, それに対応しているソフトが無いとか, 開くことができてもし訳のわからない記号の羅列で暗号のようにになっていることがあります.

対応ソフトが無い場合はどうしようもありません. ど

<sup>1</sup>前にもセンターの広報で書きましたが, 私はコンピュータは好きですが電話が大嫌いなので時代遅れとよばれようが携帯電話は持ちたくありません. 携帯電話以上に使いやすい携帯PCが出ないかなあ...

んなソフトで作ったファイルなのかを送り主に聞くなり, 自分で調べるなりして, そのソフトを入手するか<sup>2</sup>誰かエキスパートに頼んで解説可能な形にしてもらうしかありません. 最近は某社のOSとオフィスソフトが全盛なので, 送る方がそれを使っていると, そのソフトを使うのが当然と思いがちですが, **それは大きな過ちです**. 皆が皆, 同一のソフトを使うことを強制されるような社会は願ひ下げですし, ソフトは道具ですから, 道具なら自分にとって使いやすいものが一番です. 法律でスピードや駐車場所の制限があるのは仕方ありませんが, 自分の車の種類やメーカーまで指定されるのは御免蒙ります. 大事なものは, 使う道具は何でもいいから, 皆が共有できる仕様にモノがなっていることです.

訳のわからない記号の羅列になっているのは文字コードが混乱している場合かファイルをASCII化(アルファベットと0-9の数字及び+-=などの記号だけで符号化すること)して送っている場合です.

コンピュータ上で日本語を表す方法として最低4種類の文字コードがあります.(何でこうなっちゃったんでしょかねえ...)

**JIS-7 または ISO2022-JP** : メール本文で使うべきコード

**SJIS** : Win系, Mac(OS9まで)で使われているコード

**EUC** : UNIX系OS(Linux, \*BSDなど)でよく使われるコード

**Unicode (UTF-8)** : 最近提唱されたコードでMac OS-Xなど最新のOSでよく使用されます. 将来はこれに統一されるかもしれません.(だが識者には評判は良くありません)

送り主が文章を書き, テキストファイルとしてセーブしたとします. それをそのままメールに添付ファイルとして送ると, 受け手が用いている文字コードと一致しない場合, 暗号のような記号の羅列として表示されます. そのような場合はコード変換ソフトを用いて, 自分が読める形式に直して下さい.

<sup>2</sup>違法コピーをすると罰せられます.

古いメールソフトを使っていると、添付ファイルが ASCII 化された記号の羅列としてメールにくっついてのを見ることがあります。もともとメールには ASCII 化の際に許される文字と記号しか使ってはいけないう決まりになっているので、元のファイルを添付して送る際に ASCII 化して送るのがお約束です。ほとんどのメールソフトはこのお約束に従っていますが、ファイルの添付のことをあまり考えていなかったころのメールソフトでは、これを処理することのできないものがあります。そのような場合は新しいメールソフトに乗り換えるか、ASCII 化された部分を切り離して復号化するソフトにかけてください。

ここで書いたことのより詳細については

<http://www.sci.toyama-u.ac.jp/inet/rule.html> をご参照下さい。

### 3 Open Source のススメ

ワープロソフトや表計算ソフトのファイルをそのまま送ってはいけないうと言われ、日本語の文字コードまでとやかく言われて、じゃあ、いったいどういう形式でファイルのやりとりをすればいいのかとお思いでしょう。その回答は「仕様の公開されている形式のファイルを用いましょう」ということです。仕様の公開されている形式とは、具体的には HTML (ウェブで用いられる形式)、PDF、GIF、JPEG らです。表計算のファイルは CSV 形式 (データをカンマで区切った形式) にして送りましょう。これらのファイルならフリーのソフトで閲覧できます。(ps、eps ファイルはテキスト形式で書かれているので、そのまま送れます。) これらの中でもおススメは PDF です。(表計算に用いるデータは CSV にしてください。) インターネット上の文書は今や PDF 形式にして掲示するのが主流となっています。

じゃあ一体どうやって PDF 文書を作るのかという点ですが、ソフトによっては PDF 形式でファイルを書き出してくれるものがあります。その機能が無い場合でも、各社のワープロソフトで作った文書を PDF 化してくれるソフトがあります。そんな変換ソフトを買う余裕はないという場合は PDF でなく HTML 形式で書き出ししてください。HTML 形式でも十分に文書の内容は伝わります。

さて、ここから筆者の本音を書きます。本音ですのうで、関西人である私は関西弁を使わせてもらいます。あんな、企業の有料ソフトなんか使てると、大幅なバー

ジョンアップの時に古い文書が読めんようになったりする可能性もあるし、流行りが、あるソフトから別のソフトに変わったら、その場合も古いソフトで作った文書が使えんようになることもあるでしょ。(ここ十年くらいの間に○太郎からワーズに移行せんとあかんようになったお方も少なからずいてはると思います。) 大学ちゅうとこはお金に余裕のないうとこやから、企業の有料ソフトなんか使うの必要最小限にして、なるべくフリーのソフト使う方がええと思いますわ。フリーのソフトって質が悪いんとちゃうか、と思てはる人。頭が古いでっせ。今はフリーのソフトでも売り物顔負けの高品質のものがおますねん。OS にしても某社の Wxx なんかは、わたい使う気になれまへん。大学の理系研究者なら Linux か \*BSD 使うのが粋やおまへんか。その気になったら自分の努力しだいで自分好みに改良できるし、内容が公開されてるちゅうんは研究の世界と一緒で、自由な風が吹いてて気分よろし。

そんでもって、オフィス系のフリーソフトとしておススメのモンが出てきました。Open Office いいまんねん。これ、某社のいわゆる“オフィス”で作った文書を読み込んで編集できます。できたファイルも“オフィス”形式でも PDF でも書き出しできます。Win、Mac (OS X)、Linux、FreeBSD のどの OS でも使えます。もちろん無料でおます。わて、事務から送られてくるワードやエクセルの文書はこれ使て読んでまんねん。(文書を書くのは使い慣れた vi と TeX 使て、結果は dvipdfm で PDF にしとります。) 予算使うて有料のオフィス系ソフト買うんやったら、代わりにこれインストールして余ったお金で別の物買うたほうがよろし。総合情報基盤センターの端末のソフトもこれにしたらええのになあ。興味もった貴方、ものは試しに

<http://ja.openoffice.org/>

にアクセスして、より詳しい情報を見てみなはれ。いっぺん試してみる値打ちはあると思いまっせ。<sup>3</sup>

<sup>3</sup> ことわつときますが、別にわては openoffice.org から何か貰てるのぢやないです。